

## 私の自粛生活

### 我孫子シニアアンサンブル 新井史子

コロナ禍による“自粛”期間中、私は有り余る時間をうまく活用できず、ただ時の流れに身を任せる日々を送っていたが、オンラインアプリのおかげで少しだけ生活に変化を付けることが出来た。

まず、10年以上隔週で受講している市民講座では、主催者がすぐにズームでの講義に切り替えてくれたので、コロナのために途切れることもなく講座に参加することが出来た。送られてくるURLをクリックするだけで立ちどころに教室につながるのととても簡単で、お茶の水まで通う必要が無くなって、かえって有難いくらいだった。

この便利さに味を占めて、やはり10年以上続けている読書会もオンラインで出来ないものかと、ズームをダウンロードしてあれこれクリックしていたら、なんと！ホストとしてもズームを使えるようになった。オンライン読書会はもう1年以上続いている。ただ、ミーティングの間は、本当にすぐそばに参加者がいるような気がして夢中で楽しく話し合うのだが、終了時にプツンと画面が消えて普通のパソコン画面に戻る時の味気無さ、虚しさは何度経験しても慣れることが出来ない。

2か月の活動中止の後、10月からアンサンブルの練習が再開され、久しぶりに団員の方々にお会いし、他の楽器と音合わせが出来て、本当にうれしかった。生身のメンバーたちと一堂に会して演奏ができる幸せは、やはり何物にも代えがたいとしみじみ感じている今日この頃である。



### 私たちの自粛生活（コロナ禍での奮闘）

2020年1月のダイヤモンド・プリンセス号に端を発した新型コロナの感染拡大。以降5波に亘り猛威を奮いました。特に今年8月から9月にかけての緊急事態宣言に伴う使用会場の利用停止は堪えました。この第5波の中での団員の対処・過ごし方の一端をご披露します。

Vn白川さん「去年はコロナが怖くそれでも本や洋服の整理などでポジティブに受け止めましたが、今回は有り余る時間をメンバーの再開までとVnの不得意部分の練習に取り組みました。」

Fl水谷さん「田舎住まいで良かった。友達と会えなくてもラインで助かった。好きな音楽、好きなFlやってコロナ鬱にもならず良かったと実感」。

Kb山川さん「若い頃買った楽譜や子育てが一段落して始めたコーラスの楽譜の整理をしました。シミや変色の楽譜もありコピーをし直してすっきりしました」。

みなさんしっかりコロナ禍でも、有意義に対処されたようです。負けないぞ！コロナでした。

牛久シニアアンサンブル 代表 田淵崇 団員 白川雅美 水谷洋子 山川幸子